

体育大会

翔陽高校新聞

第一号



3年次
背渡り競争
作戦を立て
全力疾走!



2年次
台風の日
呼吸を合わせて
大回転!



1年次
長縄
クラスで作戦を
立て全力投球!



緑団 久しぶりの優勝

熊本県立翔陽高等学校

生徒広報委員会

翔陽高校
体育大会



五月二日(火)に開催された今年度の体育大会は、熱い戦いが繰り広げられ、最後までどの団が優勝するかわからない展開となりました。そんな中、最後に優勝をつかみ取ったのは緑団。久しぶりの優勝でした。

今年は去年より開催が早いことに加え、雨で外での練習も限られる中、どの団も団長を中心に頑張つて練習に取り組みました。雨による延期はあったものの、後日無事開催することができました。

大会後に、緑団団長の二ノ文蒼稀さんは結団式をしてすぐの頃は、全体的に私語が多く、指示が通らず苦労することが多かったです。しかし、たくさん練習を通して、団がまとまっていき、自分自身とても感動しました。また、今回の体育大会を通して『コミュニケーションが大事』ということを学びました。全クラスが練習しやすい雰囲気づくりや、みんなを盛り上げ明るい雰囲気を作るように声掛けをしました。その結果優勝することができました。」と笑顔で話してくれました。



優勝した緑団の皆さん



各団をまとめたリーダーたち

- 白団: 松尾龍晟
- 黒団: 岡山悠斗
- 緑団: 二ノ文蒼稀
- 赤団: 山田滯海
- 青団: 藪中遼人
- 黄団: 山野龍斗
- 紫団: 西優汰



各団で応援合戦!

みんな頑張れ~!



最初は団のみんなが団結してくるのか、ついてきてくれるのか不安でいっぱいだったけど、リーダーのみんなや他の三年生の協力もあって、最後は赤団みんなが全力で力を出してまとまってくれてとても嬉しくて感動しました。(赤団団長)

体育大会で大変だったことは団をまとめることです。団をまとめるために声を張りました。本番では4分というタイムを出せたことが嬉しかったです。いい経験になったので、これからの生活につなげていきたいです。(黒団団長)

最初は団のまとめ方がわからずすごく悩みましたが、リーダーや団のみんなが支えてくれ、練習を重ねることにまともになってきました。本番ではみんなで応援したり声を掛け合ったりできる団結力のある団になり、本気になれた最高の体育大会でした。(白団団長)

最初はうまく指示が通りませんでした。一番伝えたいことを一つだけ言うとうまく伝わりました。厳しい言葉を何度も言っていました。しかし、しっかりみんなが聞いてくれました。(青団団長)

団長として、すべての学年をまとめることを頑張りました。僕一人ではうまくまとめられなかったのですが、団員の人たちに支えてもらいました。リーダーや団員に感謝したいです。(紫団団長)

一年生のときに団長をしていた岡山ことねさんの姿をみて自分もしたいと思い団長に立候補しました。声を出したり、団をまとめることは大変だったけど自分にとっていい経験になったし、最高の思い出にもなりました。(黄団団長)



編集後記

今年の体育祭はコロナ禍の中でも開催することができ、午前中のみと短縮されましたが、学年種目の一年生は大縄、二年生は台風の日、三年生は背渡り、各学年対抗リレー、団対抗リレー、そして応援合戦を行うことができました。各個人が力を出し切って、記憶にも記録にも残る最高の体育大会になりました。

(高見健翔)